

ガバナーメッセージ ロータリー親睦活動月間

国際ロータリー
第2660地区 ガバナー

立野 純三
(大阪RC)



6月は「ロータリー親睦活動月間」です。

レクリエーションや職業上でおなじ関心をもつロータリアン同士の国際的な親睦と親善の重要性を認識し、親睦活動への参加を促し、親睦活動プログラムへの理解を促すための月間です。

ロータリー親睦活動は、エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったことがきっかけに1928年に始まりました。

その後、1947年には、ボートに関心のあるロータリアンのグループが、船にロータリーの旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗りました。

親睦活動の種類は、年を経るごとに増えていきましたが、その目的は今日も変わっていません。それは親睦の下にロータリアンのつながりを築き、趣味や職業に関連した活動を楽しむ機会を提供することです。なお、新たに結成を望むグループは、公式認定を受ける前に、RI理事会の審査を受ける必要があり、理事会による承認後、親睦グループは

RIから独立し、独自の規定、会費、管理体制で運営することになります。会員資格を有するのは、ロータリアン、ロータリアンの配偶者およびローターアクターです。

親睦活動(fellowship)は、ロータリアンが仲間を増やし親睦を深め、友情を育み、仲間意識を高めて、サービス活動に携わる心の基盤を共有することができます。クラブにおける親睦活動とは、会員懇親会、家族会、任意の同好会、趣味の会等がありますが概ねクラブの自主性にゆだねられており、ある意味においてクラブの活性化には欠かせないものではないかと考えます。

一方で、多くの会員の参加が必要であり、常に特定の会員しか出席しないというのでは逆効果になってしまいます。

いかに多くの会員に親睦活動の重要性を理解してもらい、クラブの活性化につなげるのかが問題であり、一番重要なサービス活動ではないかと思えます。